

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	安全で快適な教育環境の整備	施策番号	10
主担当部署	部名	部長名	
	教育部 教育部学校教育担当	谷亀 博久 大高 敏夫	

計 画 (Plan)			
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1 誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	3 人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり
		施策展開の方向	1 子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	<p>■本市の地域資源や人材を生かした特色ある教育、柔軟な指導体制によるきめ細やかな教育により、子どもたちの学習や生活を支援し、次代を担う子どもたちの「生きる力」をはぐくむまちをつくります。</p> <p>■小中学校の校舎等の計画的な修繕や機能更新により、安全で快適な教育環境への改善に取り組み、子どもたちの成長を支援するまちをつくります</p>		
施策内容	<p>小中学校の校舎等建物の計画的な保全と劣化による建物構造への影響を極力抑えるため、屋上や外壁の修繕を計画的に実施し、学校施設の安全性を維持します。</p> <p>また、小中学校のトイレなどの設備の機能更新、教室の夏季における体感温度の上昇を抑えるための対策を推進し、快適な学習環境への改善を図ります。</p>		
目標とする状態	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学校の校舎等の機能が適切に保全され、児童生徒が安全に学校生活を送っています。 ●小中学校の学習環境が改善され、児童生徒が快適な環境の中で意欲的に学習しています。 		
目標の達成度を測る指標	【指標名】	区分	
		【当初値】	【目標値】
	扇風機設置率	小学校13.8%	小学校100%
	扇風機設置率	中学校28.5%	中学校100%
	学校トイレの洋式化率	39.6%	50%
施策を構成する「主な事業」	主な事業	事業の概要	
	小中学校校舎屋上・外壁修繕事業	老朽化した学校施設の修繕を計画的に実施し、教育環境の安全性を維持します。	
	小中学校校舎等改修事業	学校施設の機能や性能を向上させ、快適な教育環境への改善を図ります。	
	小中学校扇風機設置事業	小中学校の教室に扇風機を設置し、学習環境の改善を図ります。	
	中学校給食導入検討事業	中学校における栄養バランスのとれた給食の導入に向け、検討を進めます。	

施策実施 (D)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段：達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
					扇風機設置率	小学校 13.8%	小学校 100%	↗
扇風機設置率	中学校 28.5%	中学校 100%	↗	中学校100% 100%	中学校100% 100%	中学校100% 100.0%	中学校100% 100%	
学校トイレの洋式化率	39.6%	50%	↗	48.6% 97.2%	49.6% 99.2%	49.6% 99.2%	51.7% 103.4%	

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額	
	事業費合計(a)	219,544	千円	146,888	千円	78,142	千円	51,319	千円	95,142	千円
	人件費合計(b)	5,628	千円	3,696	千円	3,654	千円	3,654	千円	3,654	千円
	トータルコスト(a)+(b)	225,172	千円	150,584	千円	81,796	千円	54,973	千円	98,796	千円

市民意識	項目		平成27年度		満足度と重要度の相関図			その他の市民ニーズ、意見	
	満足度	施策の値	0.52		↑ 重要度 ↓	← 満足度 →	A 優先的課題 選択的課題 D	B ニーズ充足 現状維持 C	<ul style="list-style-type: none"> 学校のトイレや水道を改善してほしい。 小中学校のトイレを洋式化してほしい。 学校施設がかなり古くなってきている。また、災害時は避難所になることから、計画的かつ優先的に修繕する必要がある。 中学校給食を取り入れてほしい。
		平均値	0.32						
	重要度	施策の値	1.25						
平均値		1.20							
					0.32				

■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	10-101	小中学校校舎屋上・外壁修繕事業	屋上防水・外壁修繕の実施数	0棟	12棟	18棟	◎	教育総務課
2	10-102	小中学校校舎等改修事業	トイレのリニューアル実施数	0カ所	2カ所	1カ所	△	教育総務課
3	10-104	中学校給食導入検討事業	中学校給食の導入の取組状況	検討	検討	検討	◎	学校教育課
4								
5								
6								
7								

■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	10-101	小中学校校舎屋上・外壁修繕事業	B	B	A	A	A	教育総務課
2	10-102	小中学校校舎等改修事業	B	B	A	A	A	教育総務課
3	10-104	中学校給食導入検討事業	B	—	B	B	A	学校教育課
4								
5								
6								
7								

↓ 評価 (Check) へ

評 価 (Check)

指標(施策の目標)の達成度評価 [選択・記入]	<input type="radio"/> 既に達成している(A) <input checked="" type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D)	B	左記判断理由	伊勢原市PTA連絡協議会との協働により、小中学校全てのホームルームへの扇風機設置を平成25年度中に完了した。学校トイレの洋式化については、平成29年度までに50%以上となる見込みである。 中学校給食導入事業については、先進事例の視察や情報収集を行い、導入手法の検討を進めた。
「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い(A) <input type="radio"/> 普通(B) <input type="radio"/> 低い(C)	A	取組による成果	平成25・26年度に国の経済対策に伴う国庫補助を積極的に活用し、校舎の屋上防水・外壁修繕について計画を上回って進捗させ、児童生徒の安全な学習環境の維持を図った。 また、単年度で全てのホームルームへの扇風機の設置を完了させ、喫緊の課題であった夏の教室の暑さ対策を図った。 中学校給食導入検討事業については、視察や情報収集により、導入手法検討に必要な知識や資料を得た。
市民意識の反映 [選択・記入]	<input type="radio"/> 反映している(A) <input checked="" type="radio"/> 概ね反映している(B) <input type="radio"/> 反映できていない(C)	B	左記判断理由	平成27年度に実施した市民意識調査で、本施策の満足度が平均点を上回っていることに加え、前回調査と比較して満足度が高くなったことから、概ね市民意識の反映ができていているものとする。 災害時は地域住民の避難所となる小中学校施設は、優先して修繕する必要があるとの意見も寄せられていることから、本施策の更なる推進が必要と考える。 また、中学校給食の導入を期待する意見が寄せられている。
施策を取り巻く環境変化	児童生徒を取り巻く社会情勢や生活環境の変化、大規模地震等に対する安全への意識の高まりに対応した学校施設等の環境整備が求められている。また、国の補助制度の変更により地方負担が実質的に増加したほか、国の財政事情等により補助採択そのものが厳しくなっている。 中学校給食については、県内数カ所で中学校給食の試行や実施開始、実施予定がある。 大磯町:テリハリー方式で実施 藤沢市・座間市:テリハリー方式により試行中 川崎市:センター方式等により平成29年度中に全校で実施予定 鎌倉市:テリハリー方式により平成29年2月から全校で実施予定			
施策推進上の課題	小中学校屋上防水・外壁修繕事業や小中学校校舎等改修事業の実施にあたっては、国庫補助金の確保が重要となる。また、改修工事等を円滑かつ安全に実施するため、本市の営繕体制の充実・強化が求められる。 中学校給食については、食育の推進、保護者・生徒への昼食支援の観点から重要であると認識しているが、財政負担や学校活動への影響等が課題となっている。			

↓ 施策の改善 (Action)へ

施策の方向性 (Action)				
今後の方向性の判断	取組の方向性 [選択]	<input type="radio"/> 拡大して実施 <input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し	左記判断理由	老朽化の進む小中学校施設の安全性を維持していくため、引き続き、校舎等の屋上防水・外壁の修繕工事に計画的に取り組むとともに、トイレをはじめとして、学校施設の機能や性能を向上させ、快適な学習環境への改善を図る。 また、中学校給食の導入の検討を進めるとともに、昼食支援策としてスクールランチを継続して実施していく。
	施策の方向性 [選択]	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し	左記判断理由	子どもたちの健やかな成長を支援するため、引き続き、安全で快適な教育環境の整備を図る。